

環境行政について

～豊かな環境を将来の世代に引き継ぐ～

質

「豊後大野市地球温暖化対策実行計画」を策定し、温室効果ガスの排出量の抑制に努めているが、その実績と効果は。

答 生活環境部長

平成21年度の削減率は43%であり、今後も排出量が最も大きい電力の消費削減を中心に取り組みを進めていきます。

質

地球温暖化防止のためには二酸化炭素の削減が求められており、ごみの減量化が不可欠と思うが、市としての対策は。

答 生活環境部長

分別収集を行い、廃棄物の適正な処理や資源の再利用に努めており、さらには市報やホームページを通じて、ごみの減量化について啓発を行っています。

質

清掃センターの老朽化に伴い、今後も他市と共同で処理できないかを検討し、協議を進めているとのことだが、その進捗状況は。

答 生活環境部長

今後は施設の延命化対策なども視野に入れ、近隣自治体とも連携を図りながら、広域処理の実現に向けて努力してまいりたいと考えています。

質

次世代を担う子どもたちにとってごみや環境問題は重要である。現在、学校教育の中でどのような教えをしているのか。

答 教育長

環境問題については環境教育ということで教育課程の中に別項目にまとめて進めております。実際の日常生活の中で取り組める内容を、年間計画の中で取り入れています。



おの やす ひで
小野 泰 秀



焼却状況などを監視



豊後大野市清掃センター

がんばれ学力向上

～全国平均を目指します～

質 全国一斉学力テストが抽出方式で実施された。その評価と学力向上策を問う。



さとう たつみ
佐藤 辰己

答 教育長

小学校では全国平均に比べ、国語、算数とも5ポイントから7・1ポイント低く、県平均としては、3・8から5・6ポイント低い。

中学校では国語Bを除いた全ての問題で全国平均を2・2から3・5ポイント上まわり、県平均は4・2から5・3ポイント上まわった。今後、授業の改善、並びに基礎・基本の定着を図る補充学習の徹底が必要であり、これからは全国や県下の児童生徒と比べても「遜色のない学力」を身につけなければと考えています。



授業風景（清川小学校）



パソコンでの学習風景（千歳小学校）

どうする市民要望

～計画的に対応～

質

未舗装の市道は、管理する地域間で労力的に差異があるのではないかと。また、原材料支給制度についての基準緩和はできないか。

答 市長

改良工事の要望に比べ、舗装事業は少ないことから、改良工事を優先しているが、予算



未舗装の市道（大野町）

に考慮しながら計画的に対応してまいります。また、農業施設原材料支給事業は、農業用施設の適正な維持管理および施設整備を図ることを目的としています。本年度から支給限度額を30万円に引き上げましたが、今後、支給基準の見直しについて協議を重ねて検討していきたいと考えています。